

宇井倫壽 うゑい じゆんじゆ インド哲學者、文學博士。明治十五年六月一日愛知

縣生れ、昭和二十八年七月十四日没（八二—一九六三）。幼名茂七。號法

翁。明治四十一年東京帝國大學文科大學印度哲學科卒。同期卒業の木

村泰賢と共に爾後斯界の雙璧として雁行。大正二年歐洲留學、インド

を経由して六年歸朝、十二年東北帝國大學教授、昭和五年東京帝大教

授。翌年「印度哲學研究」により帝國學士院恩賜賞受賞。十六年前澤

大學總長、二十八年文化勳章受章。

著書の『印度哲學史』（昭和七年九月）『百岩波書店』、『東洋思想

の中心（佛教思想）』（昭和九年六月）『白札幌・北海道大學學生課

「特別講義」第一輯』、『禪大乘論研究』（昭和十年七月）『百岩波

書店』、『印度哲學史』（昭和十一年一月）『日本評論社』『現代哲

學大系』、『支那佛教史』（昭和十一年九月）『百岩波書店』『岩

波全書』、『禪宗史研究』（昭和十四年十一月）『十八日、第一・十六

年十一月十七日、第二・十八年四月二十日岩波書店』、『佛教思想研

究』（昭和十八年一月）『百岩波書店』、『佛教思想の基礎』（昭

和十九年一月）『百岩大東出版社』、『印度哲學研究・第一』（昭和十

九年四月十五日岩波書店）、『佛教汎論』全二冊（上巻・昭和二十一

年六月五日、下巻・二十二年八月十五日、全一冊・二十七年一月）『十

八日岩波書店』、『信仰佛教』（昭和二十二年八月十五日要書房）、

『百岩佛教概史』（昭和二十六年一月）『百岩波書店』、『護法唯識

二十頌釋論』（昭和二十七年四月）『百岩波書店』、

『對照唯識論研究』（昭和二十八年二月）『百岩

波書店』、『釋道安研究』（昭和二十一年五月十五日



岩波書店)、<sup>1)</sup> 陳那著作の研究(昭和二十二年一月、二十日岩波書店)、<sup>2)</sup> 瑜伽論研究(昭和二十二年十月十日岩波書店)、<sup>3)</sup> 實性法論研究(昭和二十四年十月、二十六日岩波書店)、<sup>4)</sup> 大乘莊嚴經論研究(昭和二十六年一月、二十四日岩波書店)、<sup>5)</sup> 大乘佛典の研究(昭和二十八年六月、二十五日岩波書店)、<sup>6)</sup> 印度哲學研究(全六冊)(昭和四十年七月七日、十一月七日岩波書店)、<sup>7)</sup> 西域佛典の研究(敦煌逸書篇釋)(昭和四十四年十一月十五日岩波書店)、<sup>8)</sup> 譯經史研究(昭和四十六年二月五日岩波書店)、<sup>9)</sup> インド哲學から佛教へ(昭和五十一年一月、二十七日岩波書店)等。譯書、イェルサレム書(哲學概論)(久保良兵共譯、大正二年一月、二十八日弘道館)、以下岩波書店版「岩波文庫」公、<sup>10)</sup> 大乘起信論(譯註、昭和十一年六月十五日刊)、<sup>11)</sup> 黃葉斷際禪師(傳)(心法要)(譯註、昭和十一年十月十五日刊)、<sup>12)</sup> 慧海禪師撰(頓悟要門)(昭和十二年七月一日刊)、<sup>13)</sup> 道元禪師撰(實慶記)(譯註、昭和十二年十月十五日刊)、<sup>14)</sup> 圭峯宗密撰述(禪源諸詮註集都序)(譯註、昭和十四年一月、二十二日刊)等。